

H30 チャバネアオカメムシ フェロモントラップ

チャバネカメムシの集合フェロモンを利用して発生量を調査しています。誘殺虫数が
 平年より増加した場合、果樹園への成虫飛来が多く、吸汁被害が発生することがあります。

加害作物：もも、うめ、かき、発生量が多い場合にはぶどう、みかんなど

調査地点：羽曳野市、河内長野市、岸和田市

誘殺虫数(旬別)



